



## 井上の用水見学（11/22）

### ～地域学習 市川寛一先生のお話を聞いて～

**教科書で学習した用水について、自分たちの住む井上の様子を実際に見て、聞いて、触れてきました。初めて知ったことやおどろいたことなどを、感想と一緒に市川先生にお伝えしようと子どもたちが作文を書きました。**

今日、井上の用水を見に行きました。水車や用水、井戸などを見ました。水車は、流れてきた用水をぐるぐると運んでいく仕事をしています。用水を使って、お皿や野菜をあらっていたそうです。用水のことではじめて知ったことは、用水を作った人が「おがさわら」様という人だということです。おどいたことは、用水を作るのに約500人くらいで作ったということです。また、その用水が完成するまでにかかった月日がものすごい時間だということです。とてもおどろきました。

用水を作った人や、何のために使っていたのかいろいろと分かりました。勉強になってとてもよかったです。

見学しておどろいたことは、いつも歩いている時に足下で流れている川が用水だったということです。お話を聞いていて、（用水を作るという）ものすごく時間がかかる仕事で、「おがさわら」というお殿様1人の命令で行われたことにびっくりしました。

用水を見てみると、流れがとても速かったです。はじめて知ったことは、用水を作ったときにはいろいろな神様のほこらが作られたことや、松本のお殿様が作ろうとしたことです。今度は、用水のいろいろな工夫や道具のことを知りたいです。

はじめに、井上小学校の水車を見て、その水が仁礼の山から井上に流れてくことや、用水は5つあることを説明してくださいました。また、水車は30個あることも説明してくださいました。その次に、用水は洗濯物やお米、皿を洗うときに使われるということが分かりました。

道具には、「つるはし」と「たんぺ」というものを使って、「おがさわら」というお殿様が村人の願いを聞いて用水を作ったそうです。

用水は大事なのできれいに使わないといけないということを教わりました。

私が印象に残ったことが3つあります。

1つめは、今は水車はないけれど、昔は水車があったということです。しかも、昔は約30個あったそうです。

2つめは、地域によって用水を使う時間が決まっていたことです。理由は、水あらしが起きてしまうから、高甫地区は夜、井上は昼と決まっていたそうです。

3つめは、用水が無かったころは、水を取りに歩いていたそうです。けれど用水ができてからは、取りに行かずにすむので、とても楽になったそうです。今日は、知らないことがたくさんあったのでとてもおどろきました。

用水見学では、分水しているところや水車に行きました。水車は、水力発電みたいな仕組みだということが分かりました。水力発電は、水の力で回って発電しているので、そのままそっくりだと思いました。分水では、おどろいたことがたくさんありました。井上の下の方から仁礼の山の方までのきょりだと、ほとんど須坂のはしからはしまでのきょりと変わらないことや、用水は5つに分かれていることをはじめて知りました。井上も一茶が来るほど歴史が残っているんだと思うと、先祖に感謝したいです。今と昔をくらべると、だいぶ進歩したなあと思います。

はじめに見た物は、学校の水車です。いつも見ていますが、今日は何だか特別に見えました。次に見た物は、地域公民館にかざってある絵です。いよいよ見学へ出発です。でも、しばらく歩くととっても疲れたので用水の水が飲みたくなりました。けれど、昔伝染病になってしまった人がいると聞いたのでこわくなりました。帰る途中、自動はんばい機などがあって飲み物がほしくなりました。見学へ行って見て、用水があるからくらしが昔より楽になったんだなあ、と思うと、昔に生まれなくてよかったなと思いました。

用水が引かれてから、くらしが楽になったということを知りました。用水は途中で2つに分かれていました。用水はせんたくものや米を洗うことに使うことを初めて知りました。また、400年から450年もかけて作ったことに、とてもおどろきました。用水を見に行ってきたいろいろと勉強になりました。でも、たくさん歩いてつかれました。

井上と仁礼に用水が分かれていました。井上地方は午前中に、仁礼地方は午後に用水を引くと決めたことを守っていてすごいなと思いました。私が初めて知ったことは、昔用水をよごした人はすごくおこられていたこと、用水を作った人は「おがさわら」というお殿様ということ、用水を作ったあとにくらしが楽になったということです。(略)

用水は洗たくなどに使われていたそうです。井上の用水を作ったあとは、くらしが楽にゆたかになり、作物も育つようになって、用水はいろいろなことに役立っていたのだということが分かりました。

今日は、市川先生にいろいろなところを案内してもらいました。私は用水のことは全然知りませんでした。でも、井上にはいろいろな用水があることがよく分かりました。説明されてもよく分かりませんが、しっかりお話を聞いているとよく分かります。おどろいたことが1つあります。それは、用水がいっぱいあってつながっていることです。今日は用水のことがよく分かって勉強になりました。今度機会があったら、もっと用水のことを教えてもらいたいです。

**見学はメモ無しで、目・耳・心のメモだけでしたが、  
興味を持って聞いて・学ぶよい学習ができました。**

**市川先生、お忙しい中本当に**

**ありがとうございました！！**



# せいっばい

## 「井上用水」を見学しました。

### 昔の人って凄いなあ～！



先週21日（木）に市川寛一さんを講師にお招きし、「井上用水」の見学に行ってきました。朝は小雨降る寒空でどうしようかと思いましたが、見学の時間にはすっかり晴れ、地区をあちこち歩いて見学するには丁度良い日和となりました。

しっかり見聞きするため、今回は記録用紙なしで出かけることになり、見学の前に、「井上用水」のどんなことを見聞きしてきたらいいか、子ども達と観点を挙げてみました。「井上用水を作ったのはどんな人だろう。」「何年かかったのだろう。」「教科書の用水のように『水争い』はあったのかな？」などが出ました。子ども達は観点の中から2・3選び、覚えておくようにしました。

市川さんは、学校水車の仕組みや井上公民館広場にあるの歴史絵など様々な具体的な資料を示して下さいながら、子ども達に分かりやすく説明して下さいました。子ども達も自分が知りたいことや説明を聞いて疑問に思ったことなど、意欲的に質問する姿がありました。

先日の「福島の大戦」もそうですが、井上地区には「社会科」や「総合的な学習の時間」などの素材になりそうなものがたくさんあるように思います。子ども達も教室や教科書では学ぶことができない貴重な経験ができて楽しかったようです。

#### 子ども達の感想より

今日の2・3時間目に、井上用水を見学しに行きました。用水にくわしい市川さんいっしょに、井上地区に行きました。最初に、学校の水車の所に行って、水車の話を聞きました。用水の水を運ぶために、昔は水車が30カ所もあったそうです。何分か歩いた後、目的地の用水の分かれ道で、話を聞きました。昔は、井上でも水争いがあったということを聞いたとき、とてもビックリしました。市川さんが持っていた「井上地いきの水と生活」という本が、わたしの家にもあったので、この本を読んで、井上のことをもっと知りたいです。

市川さんといっしょに「井上用水見学」をしました。井上地区には、30こも水車があったそうです。そんなに水車があるとは思いませんでした。水争いは井上地区にもあったそうです。用水を作ったのは、小笠原のおとの様を中心になってやったそうです。いろいろ教えてもらって、よく勉強になりました。今日はとても楽しかったです。

今日、2・3時間目に井上地区の用水見学に行きました。市川さんという井上用水にくわしい方に、いろいろなことを教えてもらいました。井上地区の用水は「小笠原」というおとの様を中心になって作ったそうです。他にも、井上地区には30カ所も水車があるなど、いろいろなためになる説明をして下さいました。市川さんのおかげで、井上地区の用水のことや、水車で色々な物を粉にしていたことなどを知ることができました。これからは、水を大切に使って、用水がもっときれいになるようにしていきたいです。

今日、用水の見学がありました。わたしは、3つ目標を決めて行きました。説明をしてくれた人は、市川さんです。わたしたちが本当の場所に行って説明してもらったので、すごく勉強になりました。市川さんに、自分で決めた3つのことを聞くことができよかったです。

今日、井上用水のことについて市川さんにいろいろなことを教えてもらいました。まず、井上の用水は5つあって、その用水を作る中心になったのは、小笠原というおとの様でした。この用水では水争いがおこってしまったそうです。それで、使う約束がありました。それは、北の用水は昼間、南の用水は夜と決めたそうです。井上用水の歴史がよく分かって良かったです。このお話を聞いて、ぼくはこの歴史を守っていきたいと思いました。

今日、2・3時間目の社会で、井上用水の見学に行きました。井上用水のことを教えてくれたのは、市川さんという方でした。市川さんの話で聞いたなかに、用水は「小笠原」というおとの様を中心になって作ったと言っていました。でも、「何人くらいで作った」とか「何年かかったか」は、資料がないので、わからないと言っていました。市川さんは最後に、「水は大切に使って下さいね。」と言っていました。今日はいろいろなことを教えてもらって、よい体験になりました。

今日、2・3時間目に井上用水の見学に行きました。井上用水についてよく知っている市川先生に連れて行ってもらいました。井上は、水争いはなかったと思っていたら、あったことが分かりました。用水の資料や、実際の用水などを見ました。井上の用水は、「小笠原」というおとの様を中心になって作ったということも分かりました。もっと、用水についてくわしく知りたいと思いました。

11月21日に井上用水の見学がありました。井上用水は、小笠原のおとの様を作ったことが分かりました。水車は、学校のもは上から水を流して回っているけれど、用水は、下から水をくみ上げているそうです。とてもビックリしました。おかしは、水争いがはげしくて、大変だったことも初めて知りました。その話を聞いて、わたしは「水を大切にしなきゃなあ。」と思いました。それから、市川さんの資料を見て「昔の人はすごいなあ。」とも思いました。

今日、2・3時間目に井上の用水を見学に行きました。市川さんという、用水にくわしい人に教えてもらいました。びっくりしたことは、井上に用水が、5つもあるということ、5つもあるということは、「昔は水が少なかったのかなあ。けれど、用水を5つ作ったことで、みんなが使えるようになったのかなあ。」と、考えました。あと昼間は、高甫とか上の地区の人が水を使って、夜は井上の人が使うようにしたそうです。「水争い」が無くなるように工夫していて、昔の人は知恵があるんだなあと思いました。

今日、井上用水を見学に行きました。2～3時間目に見学をしました。「用水は井上町に5つある。」とか、「水車は30こある。」とか、市川さんは、いろんなことを説明してくれて、わたしは、水を大切にしようと思いました。用水のことがとても良くわかりました。とても良い勉強になりました。歩きながらの勉強だったので、お腹がすいてしまって、感想文を書くときは「早く、給食にならないかなあ〜。」と思いました。また、地いきのことを、いろいろ勉強していきたいです。